
0006. メール型宛先管理照会

業務コード	業務名
UOM01	メール型宛先管理照会

1. 業務概要

入力元がメール処理方式であり、出力パターンがI N Q型／E X Z型の宛先について、利用者I D毎に、出力情報コードと出力先のメールボックスI Dまたは出力端末名、出力端末名設定時の追加出力先メールボックスI Dを一覧照会する。

2. 入力者

全利用者（税関、厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、入管（航空）、検疫所（人・航空）、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

3. 制限事項

1回で出力される照会件数は最大30件とする。30件を超える場合は、31件目以降が出力されない旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。照会情報を再度送信することにより、31件目以降の照会情報を出力する。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

なし。

（3）利用者I D DBチェック

①入力された利用者I Dが利用者I D DBに存在すること。

②入力された利用者I Dの利用者コード（5桁）が入力者の利用者I Dの利用者コード（5桁）であること。

（4）メール型宛先管理DBチェック

入力された入力元メール種別と利用者I Dがメール型宛先管理DBに存在すること。

5. 処理内容

（1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（2）メール型宛先管理照会情報編集処理

メール型宛先管理DBより編集処理を行う。

（3）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
メール型宛先管理照会情報	なし	入力者

7. 特記事項

CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）